

話し合ったテーマ

基礎自治体ごとに話し合いたいテーマを事前に設定しました。

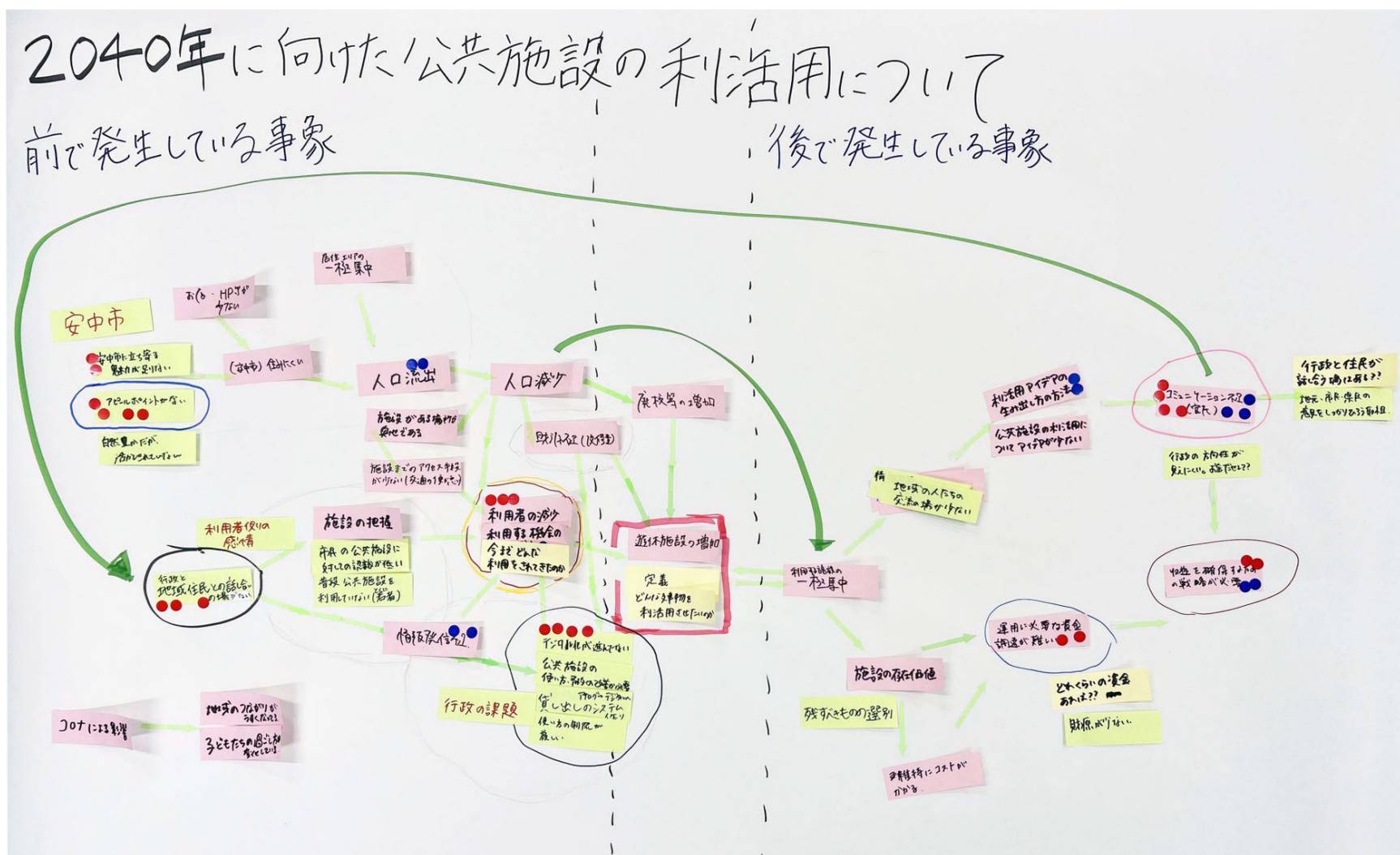
2040年に向けた公共施設の利活用について

自治体名

安中市

課題の構造図

テーマについて詳しい方や対象者へのヒアリング、自分自身の経験などから、チームのメンバーで課題を引き起こしている要因同士の複雑なつながりを紐解き、整理した図です。



フォーカスした問い

チームで話し合い、課題の構造図の中のどこにポイントを絞るといいのかを定め、誰の・どんな行動を・どう後押しするのか？を、「問い」のかたちにまとめました。

1 使われなくなった公共施設の再活用

増加する使われなくなった公共施設の再活用に苦慮している行政が施設を利用したいと考える市民のニーズを把握することで、放置されている施設を減らすために、何が可能か？

2 公共施設の維持管理費の増加

公共施設の維持管理費が増えている行政が、事業の場所を探している事業者と結びつける仕組みをつくることで、維持管理費を減らしつつ、地域の活性化につなげるために、何が可能か？

3 公共施設の利用者の確保

公共施設の利用者を確保することに困難を感じている行政・民間が、利用しやすい仕組みをつくることで、より多くの市民に公共施設を利用してもらうために、何が可能か？

未来の種

問いに対して、どんなアクションを起こすとより良い未来につながるのか、チームで話し合った意見の中から、特に実現してみたい「未来の種」となるようなアイデアの一覧です。

<p>廃校の新たな可能性を見つけよう バスツアー</p>	<p>廃校カードが完成次第、市内の廃校で、行政・民間事業者が協働で、市民を対象としたバスツアーを開催する。各廃校で廃校カードを配布する。</p>	<p>らくらく 予約サービス</p>	<p>行政、民間企業による予約利用システムのIT化をする。施設の詳細確認（備品、広さなど）や、問い合わせ、空き状況の確認、決済、予約などを簡易化する。</p>
<p>安中空き施設バンク</p>	<p>行政がWEB上で空き施設バンクを開発する。残す施設と壊す施設を確定させ、公共施設の新たな管理者を探す。</p>	<p>公共施設の 利用状況の 見える化</p>	<p>公共施設ごとの利用率を把握するために、ホームページ、電子申請システム、LINE等を活用し、アンケートを行う。集計結果をホームページで公表し、必要な公共施設の選定につなげる。</p>